

2017年度 FD研修会 * アンケート 集計結果 *

◆開催内容

日 時 : 2017(平成29)年6月22日(木) 16:50~18:00
 場 所 : 京都ノートルダム女子大学 ユージニア館4階 E403
 テーマ : 「<言語化実践>と<振り返り>が受講生の成長を促す授業
 —低単位・低意欲層に向けたキャリア教育プログラム—」
 講 師 : 京都産業大学文化学部 鬼塚 哲郎 先生
 コーディネーター : 京都ノートルダム女子大学
 人間文化学部 人間文化学科 中里 郁子 講師

◆アンケート 集計結果

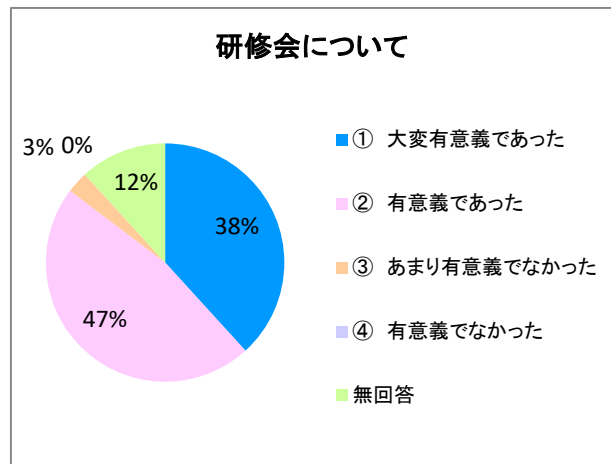
参加者数 42名(教員35名、職員7名)
 回収数 34部(回収率81.0%)

問1 所属について

所 属	人数	割合
① 教員・英語英文学科	4	11.8%
② 教員・人間文化学科	2	5.9%
③ 教員・福祉生活デザイン学科	4	11.8%
④ 教員・心理学科	8	23.5%
⑤ 教員・こども教育学科	8	23.5%
⑥ 教員・学長・副学長	1	2.9%
⑦ 職員	6	17.6%
無回答	1	2.9%
合 計	34	100.0%

問2 今回の研修会について

選 択 肢	人数	割合
① 大変有意義であった	13	38.2%
② 有意義であった	16	47.1%
③ あまり有意義でなかった	1	2.9%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	4	11.8%
合 計	34	100.0%



問3 今回の講演について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

1	できれば面白かったけれど、具体的にやってみる場合、やり方を教えてもらわないとすぐに出来る感じがしなかった。されている中身はもちろん素晴らしいものだと思います。	教員
2	低単位、低意欲層へのフォーカスのあて方が大変参考になりました。「自己内対話の深化」を促すことが、社会へ出る前に本人が気付くことが出来れば、何らかの道につながると感じました。新しい考え方をご教示いただき有難うございました。	教員
3	ありがとうございました。できることからしていきたいと思います。	教員
4	具体的なお話をありがとうございました。	教員
5	キャリア教育プログラムにおいて、意欲が低下したり勉学が困難になっている学生が前向きに自分に向き合い、一歩前に踏み出している取組は、大変関心を持ちました。対話と振り返りは、授業において(活用していく)取り組んでいくことが大切だと思いました。やはり、仲間の存在は大きく、相互交流を深めることが、自信につながり、好奇心を高めていくと思います。社会人との対話は、本学でも取り組んだら良いと思いました。本日は、ありがとうございました。	教員

6	科目の目的、特に「能力の育成」にフォーカスしないことは意義のあることだと思う。プログラム内容は受講生に有益だと感じた。合宿はよいと思うが泊を嫌う学生への対応はどのようにするのか。	教員
7	ありがとうございました。成功体験のない、感じていない人が多いのでしょうか？対話などあらゆる経験が全体的に落ちているのかもしれないと感じました。内容を参考にしながらがんばりたいと思います。	教員
8	授業の内容より、授業の位置づけが興味深かったです。	教員
9	都合で最後まで出席することができませんでしたが、興味深い実践的なお話しで勉強になりました。キャリア教育と学生相談のグループワークの両方の要素が含まれているように感じました。	教員
10	京産大のような大規模大学でもこのような細やかな対応をされる講義があることに驚きました。心理学の世界であるエンカウンター・グループや自己成長を目指した心理教育のグループセラピーに近いと感じました。学生相談室でもこのような取り組みをされているかもしれませんが、この取り組みが単位が取得できる講義となっている枠組みがとても良いと思いました。ファシリテーターの力量も影響するよう思いました。	教員
11	低単位、低意欲層に焦点をあてたこのようなプログラムはこれまで見たことがありませんでしたので、具体的な内容をご紹介いただけて大変勉強になりました。	教員
12	自分のゼミの低単位、低意欲の学生を思い浮かべながら聞きました。本学は、女子大で、比較的教員の指示が入りやすいため、(だから自立できないところもありますが)、一部取り入れられそうな気がしました。	教員
13	<ul style="list-style-type: none"> ・大変勉強になりました。 ・動機づけの主要因(有能感、自己決定、他者受容)が上手く機能している取り組みでした。 ・今の学生らしい「語り」でした。友人関係、人との関わり方も教え？ないと自立できないんだなと。 	教員
14	大変チャレンジングな内容について教えていただきました。興味深かったです。運営する側も参加し、振り返ることが重要だということがわかりました。	教員
15	一見意欲がなく、人間関係形成能力に欠ける学生にとって、これまでの人生で自分や他者と真剣に向きあい、相互作用の中で学びあえる取組だと思いました。私も受講したいと思いました。	教員
16	あだなを付け合うのは大丈夫ですか。グループ学習をあたまからいやがる学生はいませんでしたか。	教員
17	学問とはどういうことか。大学とはどういう場所か。それに直接ふれるお話で感動しました。決して低意欲の学生さんのための授業に限られるお話ではないと思います。	教員
18	どんな取り組みもやってみるという姿勢、変えていこうとする姿勢、参考になりました。本学にも必要な姿勢だと思いました。	教員
19	学生へのアプローチの方法は様々考えられるが、一方法として大変参考になった。高大連携も考えられる。日常の授業においても学生の成功体験が得られるものにしていかねばならない。	教員
20	大変有意義な授業だと思いました。ただ、実施する側は大変だと思いました。	教員
21	大きな課題として考えていたテーマでしたので非常に参考になりました。具体的なプログラムの内容、授業方法も解説されていてよかったです。	教員
22	このような取り組みを単位化することを学内調整されたことは素晴らしいと思いました。おもしろそう。枠にとらわれない、学生の目線で物事を考えることに注力していきたいと思いました。	職員
23	自信をなくしている学生に、何とか元気になって欲しいと思っています。ノートルダムを消極的に選び、クラブ等にも参加せず、就職活動等で、理由もわからないまま内定がとれずにいる学生に、何とか”良かった”と思える大学生活にしてあげたいと。	職員
24	道徳教育に似ているなと思いました。(中学で教員・道徳担当をしていました。)ただ、決定的に違うのは、それを大学の教育として認めるのにかなりのエネルギーが必要だということで、(中学道徳ではかなり自由に裁量を任されていたので、)大変だけどももしろいことをされていると思いました。	職員

25	大変素晴らしい授業だと思いました。(私も受講したいです。)	職員
26	「新しい教養教育」の可能性があるとこの点が、まさに価値観の問い直しであると感じました。	職員
27	大変興味深くおもしろいお話でした。あえて”低モチベーション”学生向けという科目を開講されたという取り組みが、京産大らしい改革していく力なのかなと感じ、本学もその姿勢を学ばなければいけないと感じました。	職員
28	<p>様々な要因により大学への関与意識が低下してしまった学生が、Reデザインの授業を通して徐々に自尊心を取り戻していくことは、今後の彼らの大学生活、キャリア意識に大きな変化をもたらすのだろうかという想像ができました。(この後、学生達がどの様に大学生活を続けているかのデータはあるのでしょうか?)</p> <p>一方、この授業に参加しようとする事自体、学生達の中に何らかの「変わりたい」欲求があるのだと思いますが、それもない様な低意欲の学生についての対応、対策についてはどの様にされているのか気になりました。またReデザインは低単位、低意欲の人のみしか履修できないのか? それ以外の学生に対しては、この様な授業を受けるチャンスはあるかどうか?</p>	無回答